日本共産党の
しんぶん赤旗
日刊紙 月3,497円
日曜版 月823円

県議会議員 上野たかし
市議会議員 加増みつ子、遠山ちえ子
関戸　勇　、小池えつ子

# 明るい取手

2016年12月25日号
発行：日本共産党取手市委員会

◆日本共産党の見解を紹介します。
302-0011 茨城県取手市井野3-19-5
☎ 72-7816　Fax 72-7817
http://toride.jcpweb.net

## 強行が相次いだ臨時国会

### カジノ法　TPP　年金カット法

９月下旬に始まった臨時国会は１７日に閉幕しました。マスコミでも「採決強行国会」と特徴づけるほどの強行採決が繰り返されたこの国会。中味を見れば「不幸を当たり前！」とした政治に尽きる安倍政権の姿勢が節々にかいまみられた国会でした。

「カジノ法案」審議の中で参考人が述べた－「経済成長」という大義があれば人の不幸を前提にした政治も許されるのかに如実に表されています。

与党政権は、ギャンブル依存症患者を増やすカジノ法案を「日本の成長戦略の目玉」と呼び、多国籍企業の利益のために農林漁業者や中小・零細業者、市民生活を犠牲にするＴＰＰを「成長の起爆剤」と位置付けてきました。

限りない年金削減を押し付ける年金カット法の審議で安倍首相は、現状でも基礎年金が極めて低く生活できないことを認めながらここでも経済状況を理由に給付削減を合理化しました。年金に加え医療・介護の負担増や給付減、社会保障費削減策とは対照的に過去最高を更新する軍事費は「戦争する国づくり」と対をなし、国民との矛盾は広がるばかりです。国民は安倍政権の本質を急速に見抜きつつあり、国会での多数を国民の多数と錯覚した政府与党に厳しい目が向けられています。

## 取手市議会閉会（11月29日～12月13日）

# 値上げ中止求める5,200の請願署名不採択

## 使用料・手数料値上げ強行
## 市民に年間8000万円の負担増

12月定例議会は、手数料・使用料値上げ中止を求めるなどの請願・陳情と、関係条例や補正予算、意見書・決議など58件を審議し閉会。保守・公明与党は、今議会最大争点の値上げ問題では５２００筆の署名が寄せられた請願と、値上げ関係条例の委員会審議を省略し、請願者の発言機会を奪うなど、ルール違反の運営で値上げを強行しました。

２００件を超える手数料・使用料の値上げは、平均1.5～２倍、年間総額８０００万円の市民への負担増となるものです

**違法行為正　議員　、発言封**
**決議　公明　保守会派**

１３日の議会閉会直前、「加増みつ子議員の反省と法令・条例の理解を求める決議案」（提出公明党染谷和博議員ら３名）が議決されました。決議は、「手数料、使用料の審議の際、加増議員は「法違反」「条例違反」と繰り返し発言した「予算の議決は、款・項までが対象」であるにもかかわらず「議会」という公式の場での発言としてあるまじきこと」としています。また「値上げ条例」を決める前のパンフ発行は「地方自治法と市条例違反」と記述した日本共産党発行の「明るい取手」に対しても言及しています。

**「違法」　発行**
**予備費充用許**

市長と与党議員等は、「値上げ説明のパンフレット発行」への予備費の充用は、予算の目・節であり、議会の議決権は及ばず、市長の裁量権の範囲と主張し、「違法」との追及をかわそうとしたものです。予算の目・節の部分なら「違法パンフ」に予備費を使うことも許されるとでもいうのでしょうか。

**多数決　罪免**

一方的な市の進め方に「議会と市民を軽視するもの」等、市民の批判が広がりました。加増市議は「予算と条例の議決権限は議会にあり、市長がすでに決定したものとして伝える内容のパンフレット等を作成・配布したことは、地方自治法と市条例違反」と厳しく追及してきました。決議は、市長の違法行為を容認し、議会ルールを踏みにじり値上げを強行した与党の罪を免れようとするものです。

数の力での議決で市長の違法行為は免れないばかりか、決議提案者と賛成議員の議員としての資質が疑われるばかりです。

超満員の傍聴席

## 市長・市議会与党への市民の怒り

### 公共施設の運営管理、市政の在り方を問う市民の運動へ

議会最終日も多数の市民が傍聴する中、市議会与党多数派によって値上げが強行されました。その直後に請願者らは、議会棟前で集会を行い、値上げ強行に対する抗議の声明を発表。声明は「値上げ問題をこれで終わらせず、公共施設等使用料値上げ問題と市政を考えるつどい」等を企画開催するなど広く市民と共同し引き続き行動するとの声明を発表しました。

［12月13日の請願者の声明は裏面に］

## 12月議会提出の請願と陳情署名にご協力ありがとうございました。６件の請願、合わせて 5,200 筆

市民団体と市民は、１か月程度の短期間で5,200筆の議会提出署名を広げるとともに、取手市に対し説明会開催の要求を行い実施させました。市役所前でのスタンディングアピール、駅前集会やパレード等、精力的な取り組みを行って来ました。

日本共産党も力を合わせました。

１２月議会での値上げ問題に関する各党議員の態度などは、裏面をご覧ください。

## 今年も大変お世話になりました。来年もどうぞよろしくお願いします。

２０１７年も、国政でも地方政治でも野党と市民の共闘、安倍暴走・藤井暴走政治と対峙し、広く市民の皆さんと力を合わせて頑張ります。

TPP　年金カット　カジノ
自公維“悪政3兄弟”
**総選挙で退場の審判を**

12 月定例市議会最大の焦点は、市民に年間 8,000 万円の負担増を求める、取手市手数料・使用料値上げに関する値上げ関係条例改悪案と値上げ中止など求める請願・陳情についての審議でした。

審議した議会は、保守・公明与党の多数により、「公聴会開催」・「徹底審査」を求める２つの請願までも議会のルールに違反する運営で不採択とし、値上げを強行しました。

**請願・陳情での会派・議員の態度は一覧表の通りです。「値上げ条例」には、日本共産党と池田めぐみ議員のみ値上げに反対、他の議員はすべて値上げに賛成。**

| 議　員 | 会　派 | 請　　願 | | | | | 陳　　情 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 手数料、使用料の料金見直しに関する公聴会開催を求める | 手数料、使用料値上げ案についての徹底審査を求める | 公民館等公共施設の使用料、コミュニティバス値上げ中止を求める | 手数料、使用料値上げの中止を求める | コミュニティバス入浴施設の値上げ中止を求める | 公共施設、スポーツ施設の使用料値上げに関する |
| 加増みつ子 | 共産党 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 遠山ちえ子 | 共産党 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 関戸　勇 | 共産党 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 小池えつ子 | 共産党 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 小堤　修 | はやぶさ | × | × | × | × | × | × |
| 岩澤　信 | はやぶさ | × | × | × | × | × | × |
| 渡部日出雄 | はやぶさ | × | × | × | × | × | × |
| 結城　繁 | はやぶさ | × | × | × | × | × | × |
| 赤羽直一 | はやぶさ | × | × | × | × | × | × |
| 佐藤　清 | はやぶさ | 議　　長 | | | | | |
| 落合信太郎 | 公明党 | × | × | × | × | × | × |
| 染谷和博 | 公明党 | × | × | × | × | × | × |
| 阿部洋子 | 公明党 | × | × | × | × | × | × |
| 齋藤久代 | 公明党 | × | × | × | × | × | × |
| 吉田　宏 | 創生会 | × | × | × | × | × | × |
| 入江洋一 | 創生会 | × | × | × | × | × | × |
| 佐藤隆二 | 創生会 | × | × | × | × | × | × |
| 細谷典男 | 創生会 | × | × | × | × | × | × |
| 山野井隆 | 創生会 | × | × | × | × | × | × |
| 石井めぐみ | 創生会 | × | × | × | × | × | × |
| 関川　翔 | 創生会 | × | × | × | × | × | × |
| 竹原大蔵 | 創生会 | × | × | × | × | × | × |
| 飯島悠介 | 無所属 | ○ | × | × | × | × | ○ |
| 池田　慈 | ネット | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

「○」は賛成、「×」は反対

- ●手数料、使用料の料金見直しに関する公聴会開催を求める請願書（雫の会提出）
- ●手数料、使用料値上げ案についての徹底審査を求める請願（個人の提出）
- ●公民館等公共施設の使用料、コミュニティバス値上げ中止を求める請願書（取手文化の会・中ホールの会提出）
- ●手数料、使用料値上げ中止を求める請願書（くらしと平和を守るネットワーク取手提出）
- ●コミュニティバス・入浴施設の値上げ中止を求める請願書（生活と健康を守る会提出）
- ●公共施設、スポーツ施設の使用料値上げに関する陳情（個人の提出）

## 公共施設等使用料・手数料値上げ問題と市政を考えるつどい

と　き　　平成２９年１月２２日（日）
午後１時３０分～４時

ところ　　取手市福祉会館 ３階講座室Ｂ

○発 言　スポーツ施設・入浴施設・コミュニティバス・公民館等利用者
ウェルネスプラザ事業に関すること等参加者の発言

○特別報告
神奈川県秦野市における公共施設等使用料値上げ反対運動について
秦野市公民館等公共施設使用料値上げ問題を考える会代表
奥田　勲さん

○専門家からの助言
埼玉県自治体問題研究所事務局長、前国学院大学経済学部講師
渡辺　繁博さん

○今後の活動について

右の声明を発表した市民が呼びかけて主催します。

## 声　　明

本日、取手市議会は本会議で公共施設等の使用料並びに諸手数料値上げに関する条例を可決成立させ、値上げ反対の請願を不採択とした。

公聴会開催・慎重審議を求める請願や値上げ反対の請願・陳情に込めた市民の切実な声―公民館等で活動する利用者団体の「値上げされればサークルそのものの存続が難しくなる」、入浴を楽しみにしている高齢者らの「回数を減らさざるを得なくなる、楽しみを奪わないで」など―は多数の議員に一顧だにされなかった。２００５年の合併以来、請願等は委員会に付託し、請願・陳情者の発言を許し、これに対する質疑を行うという極めて民主的な手続きを原則としてきた市議会が、今回はこうした原則を投げ捨て、これら請願等を葬り去るために愚策を弄することに終始した。「議会は、市政における唯一の議事機関としての責任を自覚し、市民の意思を市政に反映させるため、公平かつ公正に議論を尽くし、地方分権時代にふさわしい真の地方自治の実現を目指す」とする「議会の最高規範としての」議会基本条例第２条（基本理念）は泣いている。輝かしい取手市議会史は泥靴で汚された。

取手市は公共施設等使用料・手数料値上げの理由について、今年７月に定めた基本方針に従い、コスト計算をして「見える化」したので施設の性質別分類に従い利用者に応分の負担（受益者負担）をお願いしたい、施設を使っている人と使わない人との「不公平」をなくすためでもある。築後３０年も経つ公民館等の改築や補修工事が必要になってくる事情もある　と説明している。これに対し、私たちは、①基本的人権を保障し、日常生活に欠かせない公共施設等に「受益者負担」論を持ち込むのは、憲法・地方自治法の理念に反する。②コスト計算の中に人件費を含めるのは不当、③施設の性質別分類仕分けと負担割合設定は合理性を欠いて説明不能、④「公平性・公益性」論は市民を分断するために仕組んだ屁理屈　⑤ウエルネスプラザ事業への過大な投資・財政運営を隠したままの住民負担押しつけ等々、問題点を指摘追求したが、まともに答えられず、議会でも「受益者負担」をただ繰り返すだけだった。さらに、藤井市長は、議員の指名にもかかわらずこれを無視し、市民に理解を求めるべく自ら立って自らの口で語ることを全く拒否するという、傲慢不遜の態度に終始した。これは、議員に負託した多数市民に対する「無礼」であり、断じて許すことができない。

新聞報道によると、神奈川県秦野市は市民の粘り強い反対運動に屈服して１２月定例会での公共施設等使用料値上げ計画の提出を取り下げた。私たちは、近々に「公共施設等使用料値上げ問題と市政を考えるつどい」（仮称）などを企画開催し、幅広く市民の参加を募り、引き続きこの問題を検討していくとともに、公共施設等の今後のあり方や取手市政の課題等についても意見を交わし、市民サイドからの提言などを意見集約していくことを考えている。

平成 28 年 12 月 13 日

取手・文化の会／中ホールの会　遠藤　俊夫
くらしと平和を守るネットワーク取手　丸山　敏郎
雫の会　森下　春江
取手生活と健康を守る会　長谷山美智子